



平成29年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月6日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 兼 情報システム部長 (氏名) 宮沢 浩元

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 平成29年10月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績(平成28年12月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	3,510	4.7	385	22.0	392	18.4	467	31.7
28年11月期第3四半期	3,685	3.3	493	47.5	480	43.0	354	76.4

(注) 包括利益 29年11月期第3四半期 581百万円 (97.2%) 28年11月期第3四半期 294百万円 (81.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	64.14	
28年11月期第3四半期	48.69	

当社は、平成28年6月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第3四半期	14,726	10,172	68.9
28年11月期	14,065	9,707	68.9

(参考) 自己資本 29年11月期第3四半期 10,150百万円 28年11月期 9,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期		0.00		16.00	16.00
29年11月期		0.00			
29年11月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,845	1.3	532	18.5	520	18.2	576	19.9	79.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年11月期3Q	7,300,000 株	28年11月期	7,300,000 株
29年11月期3Q	10,554 株	28年11月期	10,532 株
29年11月期3Q	7,289,457 株	28年11月期3Q	7,289,766 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

当社は、平成28年6月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意を要する状況ながら、企業収益に改善の動きがみられ、設備投資にも持ち直しの動きがみられたほか、雇用・所得情勢も改善傾向にあり、各種政策の効果もあって、総じて景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済情勢にあつて、物流業界におきましては、保管残高数量・金額とも前年同月比増加に転じる等、国内貨物の荷動きに回復傾向がみられるものの、競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましては、需給改善の兆しはあるものの賃料水準の本格的回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは顧客ニーズの的確な把握と適切な管理を徹底してまいりました。具体的には、千葉県八街市の新規倉庫が計画通りに稼働しているほか、仙台市の賃貸マンションも計画通りに稼働しております。また、清澄の賃貸マンション建設も計画通り進捗しております。以上の施策のほか、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。

この結果、売上高は、宇都宮営業所売却に伴う貸倉庫料の減収を主たる要因として前年同期比174百万円(4.7%)減の3,510百万円となりました。また、営業利益は各経費の削減に努めてまいりましたが、前年同期比108百万円(22.0%)減の385百万円となり、経常利益は前年同期比88百万円(18.4%)減の392百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、宇都宮営業所の売却益の計上等により前年同期比112百万円(31.7%)増の467百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

物流事業

物流事業では、新規顧客の獲得等に努めてまいりましたが、貸倉庫料の減収を主たる要因として、売上高は前年同期比161百万円減の3,321百万円となりました。セグメント利益は前年同期比82百万円減の665百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、賃貸不動産の売却に伴い不動産賃貸料が減収となり、売上高は前年同期比13百万円減の188百万円となりました。セグメント利益は前年同期比30百万円減の46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産は減少したものの現金及び預金の増加等により前期末比661百万円増の14,726百万円となりました。負債は、長期借入金の増加等により前期末比195百万円増の4,553百万円となり、純資産は利益剰余金の増加により前期末比465百万円増の10,172百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末とほぼ同水準の68.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成29年1月13日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	259,027	970,151
受取手形及び営業未収入金	326,270	316,288
繰延税金資産	33,195	33,195
その他	121,365	233,412
流動資産合計	739,859	1,553,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,308,674	4,243,957
機械装置及び運搬具(純額)	313,002	164,943
土地	5,601,685	4,803,413
建設仮勘定	1,250,491	1,676,339
その他(純額)	216,001	214,758
有形固定資産合計	11,689,855	11,103,412
無形固定資産		
借地権	995	71,522
その他	44,766	40,274
無形固定資産合計	45,761	111,797
投資その他の資産		
投資有価証券	1,045,981	1,412,353
従業員に対する長期貸付金	2,900	2,020
差入保証金	472,281	475,949
会員権	9,653	9,653
繰延税金資産	33,344	32,588
その他	25,473	25,397
投資その他の資産合計	1,589,634	1,957,962
固定資産合計	13,325,251	13,173,172
資産合計	14,065,110	14,726,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	120,642	105,697
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	351,600	290,852
未払金	37,493	14,824
未払費用	99,893	36,081
未払法人税等	147,228	122,744
未払消費税等	17,059	141,794
前受金	179,249	166,734
賞与引当金	-	25,149
その他	10,690	9,089
流動負債合計	1,063,858	1,012,967
固定負債		
長期借入金	1,761,400	2,257,198
繰延税金負債	515,625	564,981
役員退職慰労引当金	233,832	113,191
退職給付に係る負債	118,568	62,542
長期預り保証金	654,966	532,630
その他	9,717	9,717
固定負債合計	3,294,110	3,540,261
負債合計	4,357,968	4,553,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	4,923,901	5,275,529
自己株式	△5,236	△5,256
株主資本合計	9,493,201	9,844,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,742	305,266
その他の包括利益累計額合計	191,742	305,266
非支配株主持分	22,197	22,916
純資産合計	9,707,141	10,172,991
負債純資産合計	14,065,110	14,726,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	3,685,197	3,510,748
売上原価	2,759,589	2,676,080
売上総利益	925,607	834,667
販売費及び一般管理費	431,816	449,321
営業利益	493,791	385,345
営業外収益		
受取利息	155	358
受取配当金	15,740	19,563
土地区画整理清算益	1,731	-
その他	3,291	2,856
営業外収益合計	20,918	22,778
営業外費用		
支払利息	10,805	14,056
支払手数料	23,500	2,019
その他	293	38
営業外費用合計	34,598	16,115
経常利益	480,110	392,008
特別利益		
有形固定資産売却益	2,854	293,201
投資有価証券売却益	3,122	-
特別利益合計	5,976	293,201
特別損失		
有形固定資産除却損	1,400	3
ゴルフ会員権評価損	4,050	-
特別損失合計	5,450	3
税金等調整前四半期純利益	480,637	685,206
法人税等	124,636	216,975
四半期純利益	356,001	468,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,058	718
親会社株主に帰属する四半期純利益	354,942	467,512

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	356,001	468,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,052	113,524
その他の包括利益合計	△61,052	113,524
四半期包括利益	294,948	581,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,889	581,036
非支配株主に係る四半期包括利益	1,058	718

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,483,129	202,067	3,685,197	—	3,685,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,483,129	202,067	3,685,197	—	3,685,197
セグメント利益	747,987	76,919	824,907	△331,116	493,791

(注) 1. セグメント利益の調整額△331,116千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,321,757	188,990	3,510,748	—	3,510,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,321,757	188,990	3,510,748	—	3,510,748
セグメント利益	665,619	46,452	712,071	△326,726	385,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,726千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。